

報道関係各位

2008年 12月 15日

**金融不安・物価変動・景気後退・・・生活防衛意識が高まる こんな時代だから...****液晶画面付きデジタル家計簿『節約戦士 おサイフセイバー』12月27日新発売！****遊びの力で経済対策！ 楽しみながら節約ができる “ドラマティック家計簿”**

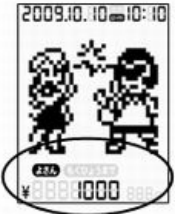





株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー(代表取締役社長: 富山幹太郎/以下タカラトミー)は、昨今の金融不安や物価変動などの社会的背景による、国民の生活防衛意識の高まりを受け、節約すればするほど、液晶画面内の5人の節約戦士が繰り広げるドラマが展開し、“楽しみながら節約できる”、液晶画面付きデジタル家計簿『節約戦士 おサイフセイバー』(以下:『おサイフセイバー』)を2008年12月27日より、4,410円(税込)にて発売いたします。

がまぐち型液晶画面付きデジタル家計簿『おサイフセイバー』は、「遊びの力で経済対策」をコンセプトとした、「遊び」と「家計簿機能」を併用した商品です。「遊び」として、目標節約金額の達成具合に応じて、節約の素晴らしさを伝えるために戦う5人の『節約戦士』と、魅惑の浪費に引き込む『浪費三姉妹』とのさまざまな戦いのドラマが展開します。「家計簿機能」として、日々の支出の管理と状況の報告、予算残額や項目ごとの支出の累計、目標達成までの金額や日数、月ごとの過去の家計簿データ(6ヶ月分のデータの記録が可能)などを確認することができます。また、臨時収入の入力や、家賃・光熱費などの固定費の変更もできるなど、ユーザーの収支の変化に柔軟に対応します。携帯に便利な手のひらサイズで、本体に収納可能な専用タッチペンで手軽に入力ができるので、出費が発生したその場でデータを入力することができます。さらに、がまぐち型の本体にはレシートの収納が可能です。『おサイフセイバー』は、生活防衛意識が高まる中、注目されはじめている家計簿に、“遊び”を加えたことで、「節約がづらい」、「家計簿をつけるのは面倒」と思いながらも、もやはその必要性は他人事ではない20代の男女に向けた、節約することが楽しみになる“ドラマティック家計簿”です。

2008年は、世界的な金融不安に伴う市場経済の混乱、年金問題や雇用不安、高齢者医療問題など、将来の生活に不安を抱かせる出来事が多く発生しました。このような不景気を反映し、生活防衛意識が高まり、日々の支出を積極的に管理し、無駄遣いを減らし、生活を改めたいという消費者思考が強まっています。この傾向は2009年も続くといわれ、家計簿などの個人用家計管理ツールが注目されると考えられます。また、生活防衛を図りつつも「暮らしを楽しもう」とする傾向が目立ち、外出しなくても、自宅で楽しめる薄型テレビや、最新ゲーム機がヒットしています。節約に遊びを加えた『おサイフセイバー』は、ちょっとした遊び心で楽しく生活防衛ができる、2009年の消費者思考を反映した家計簿として、2008年12月27日より、4,410円(税込)にて発売し、年間出荷目標10万個を目指します。

## 《ドラマティック家計簿『おサイフセイバー』の楽しみ方》

ユーザーの動作	液晶画面の表示	節約戦士の状態・ドラマの展開
<p>●はじめに</p> <p><b>初期設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日付</li> <li>●目標節約金額と目標期間</li> <li>●家計簿の締め日(給料日など収入が入る日)</li> <li>●予算(収入の金額)</li> <li>●節約項目 (食費・オシャレ費・光熱費・交際費・レジャー費の中から一つ)</li> </ul> <p>以上を設定する。</p>	<p>1日の予算を自動的に計算して液晶画面に表示</p>  <p>液晶画面に予算が表示されます</p>	<p>選択した節約項目により、液晶画面に登場する節約戦士が決定。</p> <p>【食費】節約戦士 レッド(節約家の母・40歳)          【交際費】節約戦士 イエロー(節約家の父・40歳)          【レジャー費】節約戦士 ブルー(節約家の長男・22歳)          【オシャレ費】節約戦士 ピンク(節約家の長女・17歳)          【光熱費】節約戦士 グリーン(節約戦士の次男・10歳)</p> 
<p>●食事や買い物でお金を使った</p> <p><b>出費のごとに支出を入力</b></p> <p>専用タッチペンでその場で出費を簡単入力。その場が難しい場合は、本体のがまぐちの中にレシートを収納しておけるので、都合にいいときに入力。</p>	<p>支出金額が1日予算からマイナスされ、その日の予算残高が再計算されて表示</p> <p>予算の残金が多い → 節約戦士が元気に活動 </p> <p>予算の残金が少ない → 節約戦士が弱ってしまう </p>	
<p>●1日の終わりに</p> <p><b>「1日判定」を行う</b></p> <p>毎日必ず行う1日の収支の締め作業。</p>	<p>現在の赤字黒字状態を判定</p>  <p>1日予算残高が50%以上 → ごほうびドラマが展開</p> <p>1日予算残高が30%以上 → 節約戦士優勢の勝利のドラマが展開</p> <p>1日予算残高が0円以上 → 浪費三姉妹優勢の敗北のドラマが展開 </p>	

目標金額の10分の1の節約に成功する度に、全10話で構成された、節約戦士と浪費三姉妹のドラマが1話ずつ展開され、ハッピーエンディングに向けてストーリーが進展していきます。

期間までに目標金額を節約できなかったり、ゴール直前で目標金額以上の赤字を出してしまったりすると、バッドエンディングを迎えてしまいます。

毎日の入力を怠ってしまうと、“入力催促アニメーション”が表示され、入力を促します。

4日以上入力を怠ってしまうと、強制的にリセットされ、ドラマがふりだしに戻ってしまいます。

固定費の変更・臨時収入の入力が可能です。

項目ごとの支出チェック・節約額の累計と期限までの残り日数・過去6ヶ月分の家計簿データをチェックできます。

パッケージは、天面にあるコイン投入口の穴を切り抜くと、貯金箱になります。

### 《参考アンケートデータ》

本商品の発売に合わせ、首都圏に住む20代の独身男女社会人1000人を対象に、金銭面での変化についてアンケートを実施(タカラトミー調査 2008年)したところ、「苦しくなった」(33.5%)、「お金の出入りを気にするようになった」(19.7%)と回答し、約50%の方が、暮らしに厳しさが増したことを実感、また、将来において金銭面で不安を抱えていることがわかりました。さらに個人の生活防衛策をたずねたところ、「買い物の工夫」(67.3%)・「外出・外食を減らす」(65.7%)に続き、「お金の管理をしっかりする」(61.2%)と挙げる人が目立ちました。また、家計簿やこづかい帳などの利用状況を尋ねたところ、およそ3割が現在使用中であり、およそ2割が今後使いたいと回答しており、約5割の方が“お金を管理するツール”に関心があり、個人でできる生活防衛策として家計簿のニーズが生じつつある状況をうかがわせた結果となりました。

### 経済アナリスト『森永卓郎氏』ご推薦

ベストセラー『年収300万円時代を生き抜く経済学』の著者で、獨協大学経済学部教授、また、経済アナリストとして各メディアにもご出演中の『森永卓郎氏』に、開発段階で商品の企画についてご指導いただきました。『おサイフセイバー』の発売においては、“楽しみながら節約ができる商品”として推薦していただいております。



## <商品概要>

商品名 : 「節約戦士 おサイフセイバー」  
価格 : 4,410円 (税抜価格 4,200円 税5%)  
セット内容 : 本体×1個  
専用タッチペン×1本  
CR2032電池×1個 (テスト用電池)  
正しい遊び方説明書×1枚  
商品サイズ : W86×H76×D23mm  
重量 : 約 147g  
バッテリー : CR2032 ボタン電池×1個  
発売日 : 2008年 12月 27日  
取扱い場所 : 全国の玩具専門店、百貨店・量販店の玩具売場 他



< 報道各位から本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社タカトミー 広報チーム TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380

< 読者から商品に関するお問い合わせ先 >

株式会社タカトミー お客様相談室 TEL 03-5650-1031 <http://www.takaratomy.co.jp>